

府 最優



最優秀提案の外観パース

案を求めていた。五月に行われた提案受け付けには、同JVを含む七JVからの応募があり、事業提案競技作品選定委員会が定性的事項と

二百万円。このうち建設事業費は四十四億六千七百円で、うち単独事業費は十四億九千五百万円。部局別では都市整備部は八千七百九十二万円、

物の耐震化と社会福祉施設等耐震化等臨時特別基金事業を実施。また、公共事業の前倒しとして、農林公共事業や国と大阪府と協働した鉄道の改

民等の利用度の高い鉄道路の耐震化に要する経費に對して、国及び市町村と協働して補助金を交付。鉄道の安全性向上を図るとともに、災害発

生時における鉄道の緊急応急活動拠点機能を確保するもので、南海難波駅と阪神野田駅を補助対象とし、建築物や跨線橋等の柱、基礎等の補強(フ

近畿整備局の総合評価委

専門工事審査型 地元企業活用審査型

技術者資格の評価検討

実績評価で手持ち工事量も重視



今年度の取り組みなど審議する総合評価委



木下局長

近畿地方整備局の平成二十一年度第一回総合評価委員会(委員長・大西有三京都大学副学長)が二十四日、大阪合同庁舎第一別館で開かれた。今回は、近畿整備局が昨年度の実施結果や今年度発注予定工事の評価項目と配点などを議題に挙げ、専門工事審査型と地元企業活用審査型の評価項目で技術者資格の評価検討、実績評価型総合評価で手持ち工事量による評

価を導入する方針などを二十一年度第一回総合評価委員会(委員長・大西有三)が示し、同委員会の承認を得た。

冒頭、木下誠也局長があいさつに立ち、昨年度の評価導入率で、近畿整備局は九九・九%の導入、価格だけでなく品質を重視した逆転現象も二八・八%に達していることについて「総合評価の意義が確実に表れている」と評価。早期発注に

と答えている一方、課題として専門工事審査型は「技術提案書提出時点での見積書は精度が低いためペナルティーが不安」(受注者)、「見積書はしっかり評価する内容とすべきで、事後確認も必要」(発注者)、地元企業活用審査型は「提案した活用企業と契約できない場合のペナルティーが不安」(受注者)、「地元企業の

工事成績は提出された府県成績がすべて確認できないため、当面直轄のみでよい」(発注者)、工事成績評定活用重視型は「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

(発注者)といった意見があったという。これを受けて、今年度の取り組み方針は「各方式とも工種を限定せず、試行を拡大」することにしている。特に専門工事審査型と地元企業活用審査型では、評価項目の見直しとペナルティーの明確化を挙げ、技術者資格の評価を検討。また工事成績評定活用重視型では工事特性(工種、規模、構造物の重要性など)を考慮した評価項目の設定について理解を求めた。

二次補正は今年三月までに六一%を契約した。今年度当初予算についても過去最大の前倒しで八割発注する計画。それに加えて緊急経済対策での発注も増える。これからは技術審査が重要。意見を聞きたいと語り、

審査に入った。まず、総合評価発注の落札者の加算点と評価については、今回の集計(一社札及び予定価格内一社を除く)で、平成十七年の価格重視に比べて、昨年度は価格と品質、品質重視の傾向が強まっていることが明らかにされた。

昨年度は、新たな総合評価方式として専門工事審査型(二件)、地元企業活用審査型(三件)、工事成績評定活用重視型(二件)を試行。今回、近畿整備局が今後の拡大に向けて、受注者と発注者の双方からヒアリングアンケートを実施した結果を提出。その報告では、い

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

前倒し発注のための工夫としては①実績を重視した総合評価方式の運用・拡大②施工体制審査・評価の迅速化③入札に必要な工事関連データなど、提供する情報量の増加・迅速化④詳細設計付工事発注の柔軟な対応を挙げている。実績重視型(簡易型)では、新規参

入者への配慮、受注者の偏りは正に關して「手持ち工事量による評価を今年度から導入」(準備中)の方針が示された。施工体制審査・評価の迅速化の試行では「工事入札に当たり、低入札価格調査基準価格を下回った低札者に求めている施工体制を確認するための書類の提出期限を三日、ヒアリングを実施する期間を五日以内(計八日以内)とし、速やかに審査・評価する」としている。

工事関連データ等の提供に関する情報量の増加・迅速化では、今後の方向性として「課題を整理し、対応方針を検討するため」の産学官による検討会を平成二十一年度中に立ち上げる」とした本省の方針と、近畿整備局の取り組みとして「本官工事対象と技術的難易度の高い(難易度Ⅳ以上)で試行する」考えを示し、承認を得た。

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」

「評価項目は工事内容ごとに判断して設定したほうがよい」「全ての工事実績の成績が反映されているか確認作業が煩雑」